

足立 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A・C組

教科担当者：（A組：塩畑・鈴木）（C組：塩畑・鈴木）

使用教科書：（東京法令出版 公共 二宮書店 基本地図帳）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べられる技能を身につけさせる。	現実世界の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、構想したことを発表する力を養う。	より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していかようとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ①社会のなかの私たち ②日本の文化と社会 ③青年期とは ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点を用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学 期	A 「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ④自己形成の課題 ⑤ライフ・キャリアの形成 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	11
	A 「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結び付くことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ⑥社会の多様性 ⑦宗教と文化 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	B 単元「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得のできる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の追求や解決する活動に対し主体的に参加し、他者の意見を受容的態度で傾聴している。	・指導事項 ①幸福とは ②自由とは ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 哲学者の考え方の共通点や相違点を適切に理解する。 【思考・判断・表現】 思考実験などを用いて、自己の意見と他者の意見を融合させ、新たな考察をする活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 幸福・自由・正義・公正といった人によって答えが異なる概念に対し、自分の考えを導くことを主体的に行っている。	○	○	○	8
	B 単元「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得のできる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の追求や解決する活動に対し主体的に参加し、他者の意見を受容的態度で傾聴している。	・指導事項 ③正義とは ④公正とは ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 哲学者の考え方の共通点や相違点を適切に理解する。 【思考・判断・表現】 思考実験などを用いて、自己の意見と他者の意見を融合させ、新たな考察をする活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 幸福・自由・正義・公正といった人によって答えが異なる概念に対し、自分の考えを導くことを主体的に行っている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	C 単元「公共的な空間における基本原理と日本国憲法」 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊重や平等な基本的原理などについて理解し、考察する態度を身につける。	・指導事項 ①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民主権 ③消極的自由と公共の福祉 ④積極的自由と義務 ⑤法の支配と人権保障 ⑥平和主義 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が日本国憲法のどこに根拠として記されているか理解している。 【思考・判断・表現】 日本国憲法で人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が記されている理由を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理が日本国憲法とどのように関連しているかを主体的に考えている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D 単元「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。	・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ①法の機能と限界 ②国会の運営と権限 ③内閣と行政の民主化 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方についての知識を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について現在の政治状況を踏まえて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュース等で知った情報を学習内容に結びつけようとしている。	○	○	○	11
	D 単元「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。	・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ④世界の政治体制 ⑤裁判所と人権保障 ・教材 教科書、プリント、板書、映像資料	【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方についての知識を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について現在の政治状況を踏まえて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュース等で知った情報を学習内容に結びつけようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							78